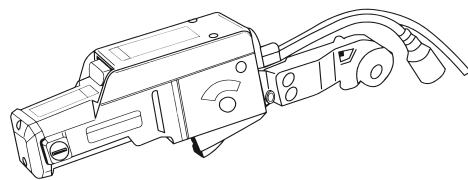


この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。

REX 超硬カッタ

TCシリーズ 取扱説明書



機種名: TC-NS25~150

製造番号:

レッキス工業株式会社

一般的な注意項目

警告

- ⑨ 次の場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。
 - ・刃物などの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、ケガの原因になります。
- ⑩ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。
 - ・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。
 - そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因となります。
 - ・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。
- ⑪ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。
 - ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。
- ⑫ 作業関係者以外は近づけないでください。
 - ・作業以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。
 - ・作業以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。
 - ケガの原因になります。
- ⑬ 無理して使用しないでください。
 - ・指定用途以外には使わないでください。安全に能率よく作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因となります。
 - ・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - 発煙、発火の恐れがあります。
- ⑭ きちんとした服装で作業してください。
 - ・ネクタイ、そで口の開いた服、編手袋、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - 回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・作業環境により、保安帽、安全靴等を着用してください。

一般的な注意項目

⚠ 警 告

- ⑮ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒してケガの原因になります。
- ⑯ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。
- ・スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで作動させると、事故やケガの原因になります。
- ⑰ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ・取扱方法、作業のしかた、周りに状況など、十分注意して慎重に作業してください。
注意を怠ると、事故やケガの原因となります。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。 事故やケガの原因となります。
- ⑱ 電源コードは乱暴に扱わないでください。
- ・コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
 - ・コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ⑲ 日頃から注意深く手入れをしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類はいつもよい切れ味の状態でお使いください。 刃物が用途に合っていなかったり、摩耗したり、損傷した状態で使用すると、モータや本体に負担がかかり発熱、発煙、発火の恐れがあるほか、ケガの原因にもなります。
 - ・付属品や刃物の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用に合った延長コードを使用してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。 すべて、ケガの原因になります。

一般的な注意項目

⚠ 警 告

- ⑳ 損傷した部分がないか点検してください。
- ・使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書の指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。
- ㉑ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ㉒ 機械の分解・修理は、専門店に依頼してください。
- ・当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

超硬カッタご使用上の注意!

⚠ 警 告

- ① 超硬カッタを取り付けるときや刃物の交換のときは、十分気をつけてください。
 - ・超硬カッタを取り付けるときは、機械のスイッチをOFFにし、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。超硬カッタのスイッチをOFFにしてください。誤って電流が流れると刃物が回転し、事故やケガの原因になります。
 - ・超硬カッタを取り付けるときには、刃物の「刃先」の部分を持たないようにしてください。事故やケガの原因になります。
 - ・刃物は、取扱説明書に記載してある純正品を使用してください。指定以外の刃物を使用すると、事故やケガの原因になります。
- ② 超硬カッタの電源は、必ずAC100Vで使用してください。

表示より低い電圧で使用されると、モータ焼損の原因となり、また、表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、機械の故障や事故、ケガの原因になります。
- ③ セフティカバーが正常に動くか確認してください。
 - ・セフティカバーは、常に円滑に動くことを確認してください。刃物が露出したままですと、事故やケガの原因になります。
- ④ 長尺パイプの切断には、パイプ受台を使用してください。
 - ・材料の切り落とし側が長いときは、切り落とし側に安定性のよい台を設けてください。
 - ・切り落とし寸前や切断中に、材料の重みで刃物が挟み込まれないように受け台を設けてください。

パイプ受台がないと、刃物が挟み込まれ、回転が停止したり、刃物が破損したりと、機械の故障や事故、ケガの原因になります。
- ⑤ 切断時に本体をパイプに押し付けしないでください。

超硬カッタは自重によってパイプを切断します。押し付けると刃物や本体を破損させるだけでなく、事故やケガの原因になります。
- ⑥ 使用中は、刃物、回転部、切粉排出部に手や顔を近づけないでください。

事故やケガの原因になります。また、安全のため保護メガネを着用してください。
- ⑦ シリースモータ使用の関係上、通風孔を開けておりますので、ふさぐことのないようにしてください。

通気が悪いとモータが熱を持ち、発火したり、事故やケガの原因になります。

超硬カッタご使用上の注意!

⚠ 警 告

- ⑧ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機械に破損・亀裂・変形がないことをよく点検してください。また、使用中に機械の調子が悪くなったり、異常音がしたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に、点検・修理を依頼してください。

そのまま使用すると、正しい作業ができなかったり、機械の故障や事故、ケガの原因になります。
- ⑨ 使用中は、手袋を着用しないでください。

回転部や刃物に巻き込まれ、事故やケガの原因になります。
- ⑩ 切断中に停電、もしくはブレーカーがおちた時は、速やかにパイプマシンおよび超硬カッタのスイッチをOFFにしてください。

そのままにしますと、復旧した時に不意に作動して事故やケガの原因になります。電源が回復したことを確認したら、最初からの要領で作業をやり直してください。

⚠ 注 意

- ① 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

取り付けが不十分だと、外れたり落ちたりし、事故やケガの原因になります。
- ② 切断直後のパイプ・切粉に手を触れないでください。

切断直後は非常に高温になっていますので、火傷やケガの原因になります。
- ③ 回転させたまま、放置しないでください。

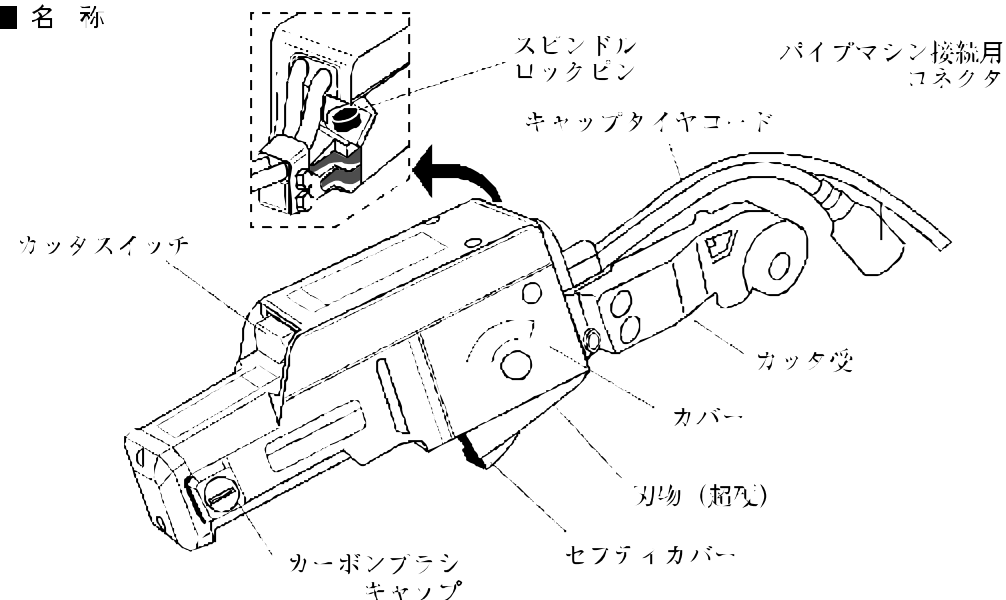
他の人がケガをする恐れがあります。
- ④ 回転中にスピンドルロックピンを押さないでください。

回転中にスピンドルロックピンを押したり、押したままスイッチをONにすると本体の破損や事故、ケガの原因になります。
- ⑤ 切断後は、カッタスイッチをOFFにし、刃物の回転が完全に停止してから、カッタを起こしてください。

切粉の飛び散りでケガをすることがあります。
- ⑥ 本機を直射日光の当たる場所や、発熱する機器等の近くでの保管や作業はしないでください。

各部の名称・仕様・付属品

■ 名 称



■ 仕 様

機 種	TC-NS25	TC-40	TC-50	TC-S50	TC-80	TC-100	TC-150
コ ー ド No.	170309	170303	170304	170308	170305	170306	170307
搭載可能マシン	NS25A	S40A・N40A	N50A・S50A NS50A	S50A	S80A・N80A NS80A・90A	N100A	150A
切 断 能 力	8A～150A (1/4B～6B) ※搭載されたパイプマシンのねじり切り能力に準ずる						
切 断 可 能 パイプ	SGP, 各種被覆鋼管						
電 源	100V (50/60Hz)						
モ ー タ	シリースモータ						
回転数(無負荷) r.p.m.	3,100 (60Hz)						
周速(無負荷) m/min	633 (60Hz)						
重 量 kg	3.1	3.3	3.4	3.4	3.8	4.0	4.9
大きさ(長×(幅×高)mm)	309×78×124	321×78×124	348×78×124	348×78×124	404×78×125	470×78×125	460×78×143
刃物の材質・形状	超硬・φ65(外径)×φ25(内径)×1.6(厚み)×50(刃数)						

■ 標準付属品

六角棒スパナ	4mm・6mm 各1本
(+)ドライバー	1本
片口スパナ※	13mm 1本
全超硬刃	(=付No.1703-0) 本体付1枚

※TC-NS25,TC-150に、片口スパナは付属しません。

■ オプション



全超硬刃
(=付No.1703-0)



チップソー
(=付No.1703-1)

使用方法

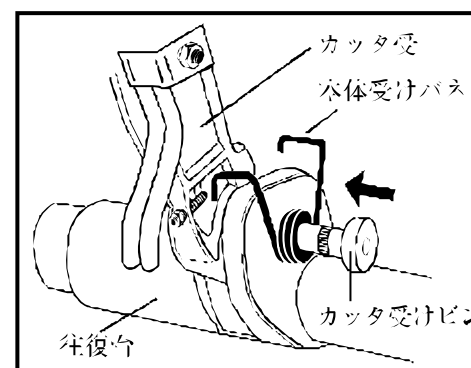
1.超硬カッタの取付

⚠ 警 告

電源をOFFにし、差し込みプラグをコンセントから抜いて取付け作業をしてください。取付けの際、刃物の刃先に触れないようにしてください。事故やケガの原因になります。電源は100V電源を使用してください。200Vは使用できません。

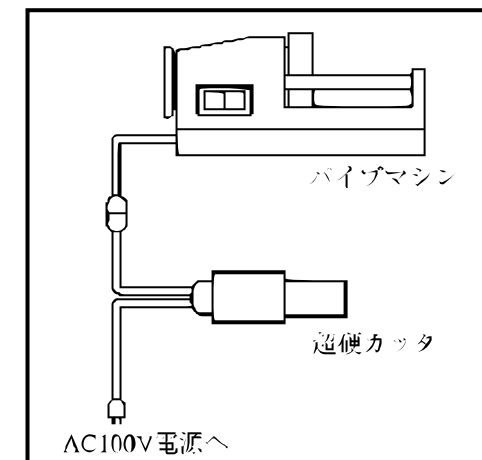
① REXパイプマシンに取り付けてあるパイプカッタを取り外し、超硬カッタのカッタ受けをカッタ受けピンでしっかりと打ち込み、取り付けてください。(カッタ受けピンは主軸側から差し込んでください。)

② TC-40～100を取付ける際、本体受けバネをカッタ受けピンに通し、バネがカッタ受と往復台にかかるようにセットしてください。
(TC-NS25,TC-150には荷重調整機構が設けられておりませんので、本体受けバネは付属していません。)



③コードプラグの接続

(TC-NS25,TC-40,TC-50,TC-S50,TC-80,TC-100,TC-150)
パイプマシンのキャップタイヤコードを超硬カッタのパイプマシン接続用コネクタに接続してください。
※REXパイプマシンに「超硬カッタ用コンセント」が装備されている場合は、超硬カッタ電源プラグを差し込んでも使用出来ます。



使用方法

2.荷重調整

(TC-40,TC-50,TC-S50,TC-80,TC-100)

荷重調整ボルトでカッタ本体の荷重を調整し、適正切断時間に設定して切断してください。

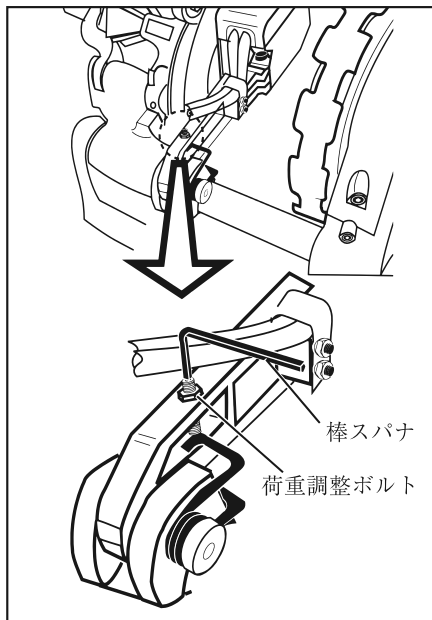
※適正な切断時間の目安は、新品の刃物で25A(SGP)が約8～10秒です。
切断方法は、次の『3.パイプの切断』を参照してください。

- 荷重調整ボルトを締め込む ……切断時間が長くなる。
- 荷重調整ボルトを戻す ……切断時間が短くなる。

備考……TC-NS25,TC-150には荷重調整機構は設けておりません。

【注意】

ばねの効きが悪くなってきたときには、お近くの販売店もしくは当社営業所までご連絡ください。

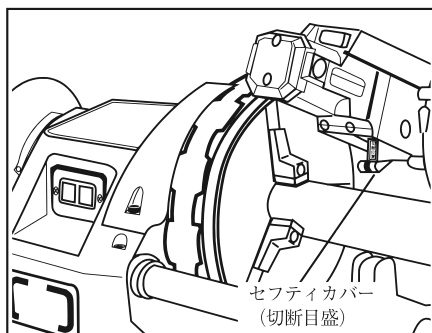


3.パイプの切断

- ①切断するパイプは必ずしっかりとチャッキングしてください。
- ②セーフティカバーの切断目盛を切断位置に合わせ、パイプマシンのスイッチをONにしてください。

【注意】

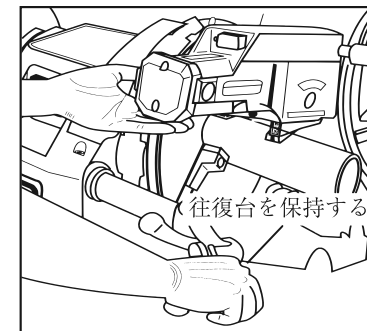
小径のパイプを切断するときは、できるだけチャックに近い所で切断してください。



使用方法

- ③パイプが回転をはじめたらカッタのスイッチをONにした後カッタをしずかにパイプにのせ、切れ目が入るまで往復台を保持してください。

押し付け禁止!



⚠ 警告

切断時に本体をパイプに押し付けないでください。

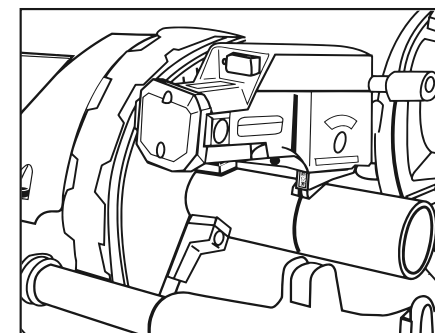
超硬カッタは自重によってパイプを切断します。押し付けると刃物や本体を破損させるだけでなく、事故やケガの原因になります。

長尺パイプの切断には、パイプ受台を使用してください。

- ・材料の切り落とし側が長いときは、切り落とし側に安定性のよい台を設けてください。
 - ・切り落とし寸前や切断中に、材料の重みで刃物が挟み込まれないように受け台を設けてください。
- パイプ受台がないと、刃物が挟み込まれ、回転が停止したり、刃物が破損したりと、機械の故障や事故、ケガの原因になります。

【注意】

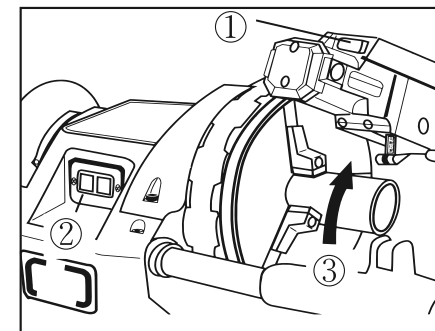
切断中、パイプに異常な負荷がかかった場合、スイッチに内臓されたサーキットプロテクターが作動し、自動的に停止します。(再度切断を行う場合には、原因を確認し、取り除いた上でスイッチをONに入れ直してお使いください。)



④停止

切断終了後、

- ①まずカッタのスイッチを切ってから
- ②パイプマシンのスイッチをOFFにし、刃物の回転が止まってから
- ③超硬カッタを起こしてください。



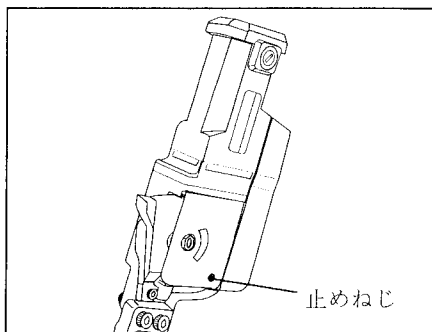
刃物の交換

刃物の取付け・取外し

警告

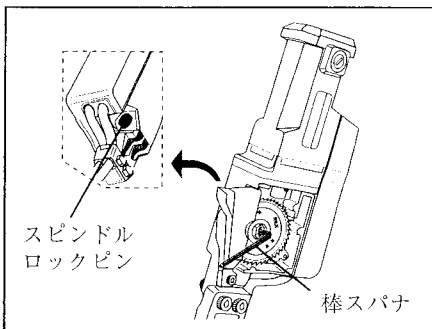
刃物を交換するときは、カッタ本体のスイッチをOFFにし、差し込みプラグを電源から抜いて作業を行ってください。差し込まれたままだと不意に作動して事故やケガの原因になります。

- ①カバーの止めねじを外し、カバーを取り外します。



- ②スピンドルロックピンを押し、刃物の回転を固定してください。
- ③スピンドルロックピンを押したままカッタ取付ボルトを六角棒スパナで右方向に回転させ、刃物を取り外し新しい刃物と交換してください。

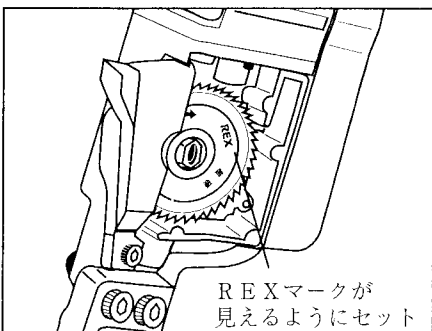
カッタ取付けボルトは左ねじです。回転方向に注意してください。



- ④刃物の取付け方向は REX マーク及び文字が刻印されている面を表に向けて取付けてください。
- ⑤刃物の交換が終了したら、必ずカバーを取付け、止めねじをしっかりと締めつけてください。

【注意】

- ・刃物は純正品をお使いください。
- ・刃物が回転軸に正しく挿入されているか確認してください。
- ・スピンドルロックピンが確実に戻ったことを確認してからスイッチを入れてください。



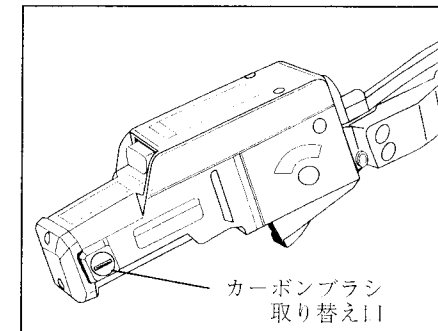
カーボンブラシの交換

カーボンブラシの交換

カーボンブラシの摩耗が大きくなるとモータ故障の原因となりますので、長さが摩耗限度線（残り約5mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。（必ず2個セットで交換してください。）

【注意】

当社指定のカーボンブラシ（No.21）をご使用ください。



修理をご依頼のときは

本機は厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらないで、下記のところにご用命ください。

最寄りの { レッキス製品取扱店
レッキス工業営業所（裏表紙参照）
レッキステクノサービス部 072-963-1960 }

その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がございましたら遠慮なくお問い合わせください。

保証・免責事項について

- ①本機は正常な使用状態において万一故障した場合、下記により無償修理またはサービス部品を無償供給します。
- 無償修理保証期間はご購入後1年です。
 - 修理・サービス部品供給については、お客様との打合せにより日程・手順・方法等を決定し対応します。
- ②有償修理について
- 無償修理保証期間をすぎた時は修理・サービス部品供給は全て有償になります。
 - 無償修理保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
- (イ) 本取扱説明書通り取扱わない場合
- (ロ) 用途以外に使用した場合
- (ハ) 本取扱説明書通りに修理しなかった場合、また改造した場合
- (ニ) 刃物または消耗部品の場合
- (ホ) 非常に過酷な使い方をした場合
- ③次の場合は当社は一切責任を負いません。
- (イ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、および公害や異常電圧による不具合または事故
- (ロ) 本取扱説明書通り取扱わない場合
- (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造を行なった場合
- ④本機に関して当社の費用負担が生じた時の負担額は、いかなる場合も本機のご購入価格以下とします。

REX
www.rexind.co.jp

レックス工業株式会社

東京支店	〒177-0032	東京都練馬区谷原5丁目13番30号	Tel. 03 (5393) 6011
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel. 072 (961) 1201
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	Tel. 011 (682) 3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel. 022 (232) 1697
東京営業所	〒177-0032	東京都練馬区谷原5丁目13番30号	Tel. 03 (5393) 6011
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel. 027 (253) 8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel. 046 (245) 3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel. 052 (351) 1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel. 072 (961) 1201
広島営業所	〒731-5115	広島市佐伯区八幡東4丁目3番8号	Tel. 082 (927) 9591
九州営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel. 092 (583) 1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口



0120-475-476

受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00